

令和5年度 登別市幌別中学校 「グランドデザイン」

目指す学校像 <最上位目標>

「明るい**笑顔**で 将来の**夢**の実現に向け **自分の力**で歩む学校」

※キーワード『戻すもの』と『進めるもの』の見極めと実践・推進

令和5年度 幌別中学校 学校経営の二本の柱

【目指す生徒像】

笑顔

- ・自分の居場所
- ・友達関係
- ・心も体も健康
- ・決まりやルール
- ・先生との関係

夢

- ・全力で頑張る
- ・あきらめない
- ・自分にもやれる
- ・できた！
- ・こうなりたい

自分の力

- ・やってみる
- ・気持ちの強さ
- ・困ったら…
- ・先の見通し
- ・振り返る

☆こんなことに取り組んでいきます

- ・連携・一貫を進め、わかる授業・身になる学習を目指します
- ・生徒にも保護者にもわかりやすい指導と評価の一体化を進めます
- ・一人一台端末の活用と並行しネットとの付き合い方を指導します
- ・個に応じ、親身になった生徒理解や生徒指導に努めます
- ・各種通信やさくら連絡網、学校HPなどの情報発信を工夫します
- ・働き方改革を進め、生徒と先生が触れ合える時間を増やします
- ・部活動地域移行を見据え、適切な活動の実施に努めます
- ・将来の自己実現に役立つ力を身に付けさせる指導をします
- ・トライ&エラーを数多く体験させ思考力や判断力を養成します
- ・仲間や家族、学校やふるさとを誇りに思える人材を育てます
- ・地域や関係諸機関との連携を深め、開かれた学校づくりを進めます

「この生徒で」「ここに通わせて」「ここにこの学校があって」

「ここで仕事できて」良かったと思える**地域と共にある学校づくり**

ICT機器の積極的・効果的活用

「令和の日本型学校教育」の推進

「一貫・連携教育」の一層の推進
(小中・地域・キャリア)

< 社会の変化に対応した学校教育 >

- ・ Society5.0 デジタル社会 多様性 インクルーシブ
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ・ 働き方改革と GIGA スクール構想の推進
- ・ 「誰一人取り残さない学校（社会）」の実現

< 持続可能な社会の担い手の育成 >

- ・ 「ふるさと教育」「キャリア教育」の充実
- ・ 自己肯定感や自己有用感の高い子どもの育成
- ・ 校区間連携、幼保小中高専連携、地域連携
- ・ 合同学校運営協議会の開催、CSの推進

< 経営・指導の重点 >

- 1 「**持続可能な**」を合言葉に、意欲を持ち、主体性を生かした取り組みで、やり遂げた喜びを体得させる。
- 2 「**安全安心**」や「**働き方改革**」の視点で、諸活動を見直し、スクラップ&ビルドを図る。
- 3 全活動を通して「目的：〇〇のために～」「手段：〇〇を用いて～」「振り返り：〇〇ができた」を明確に意識させる。

学校運営協議会

熟議と連携・協働

小中一貫教育

「ふるさとを愛し、未来をより良く生きるこども」

地域連携

土曜授業（4回）